

科目の内容（シラバス）

②授業科目名	③必修／選択の別	④単位数	⑤含む必須の教育内容番号	⑥担当教員名	⑦実施形態
多文化共生マネジメント	必修	2	1・2	植村 広美	対面
⑧授業のテーマ及び到達目標	【知識・技能】 ①国際社会の情勢・人の移動と日本との関係、日本及び多様な国・地域の社会・文化について理解する。 【思考・判断・表現】 ②在留外国人の現状やその動向、ならびに多文化共生政策の課題を指摘できる。 ③日本および広島が多文化共生に関する具体的な政策提言を導き出すことができる。 【主体性・協働性】 ④グループワークに参加できる				
⑨授業の概要	多文化共生の実現に向けて、広島を舞台に行政～NPO～個人による様々なアクターによる取組みについて理解し、教員・受講生・ゲストスピーカーの三者間で、今後の政策提言を導き出します。 <u>ゲストスピーカーの招聘（令和5年度実績）</u> 第7回：ゲスト（ダイバーシティ研究所理事・内閣府在住外国人施策推進室） 第8回：ゲスト（ひろしまNPOセンター理事）・ゲスト（広島県国際課参事） 第9回：ゲスト（広島文教大学准教授） 第10回：ゲスト（安芸高田市国際交流協会理事） 第11回：ゲスト（元幟町中学校記入国教室教員・元国泰寺中学校日本語教室教員） 第12回：ゲスト（呉市日本語教室「ひまわり21」代表） 第13回：ゲスト（ブラジル出身） 第14回：ゲスト（叡啓大学3年生・ブラジル出身）・ゲスト（中国出身）				
⑩授業計画					
授業回等	各回の授業内容				各回に含む必須の教育内容番号
1	ガイダンス				1・2
2	多文化共生とはなにか①移民の定義・移民をとりまく現状				1・2
3	多文化共生とはなにか②グループによる共同作業（1）				1・2
4	多文化共生とはなにか③グループによる共同作業（2）				1・2
5	多文化共生とはなにか④グループによるプレゼンテーション（1）				1・2
6	多文化共生とはなにか⑤グループによるプレゼンテーション（2）				1・2
7	多文化共生における行政の役割①日本の多文化共生政策				1・2
8	多文化共生における行政の役割②広島県の多文化共生政策				1・2
9	多文化共生における行政の役割③外国人技能実習制度				1・2
10	多文化共生における行政の役割④安芸高田市の事例				1・2
11	多文化共生におけるアクター①中学校帰入国教室担当教員				1・2
12	多文化共生におけるアクター②呉市における日本語教室ボランティア				1・2
13	多文化共生におけるアクター③外国にルーツをもつ市民				1・2
14	多文化共生におけるアクター④外国にルーツをもつ市民				1・2
15	プレゼンテーション①多文化共生にどのように関わっていくか？				1・2
16	プレゼンテーション②多文化共生にどのように関わっていくか？				1・2
⑪使用テキスト	毎回の授業毎にTeams配布資料をアップします。				
⑫参考書・参考資料等	授業中に適宜紹介する。				
⑬同時双方向性の確保 （通信で実施する科目のみ）					
⑭学修課程の管理方法 （通信で実施する科目のみ）					
⑮学生等に対する評価 （評価基準・評価方法等）	ミニッツ・ペーパー：40点（到達目標①②③） プレゼンテーション：20点（到達目標④） 学期末試験：40点（到達目標①②③） 計100点満点で評価する				